

## 第2回 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会 次第

日 時:令和8年10月8日(木)  
午後2時00分

会 場:荒川区役所6階  
産業経済部会議室

### 1 開 会

### 2 区長挨拶

### 3 各分科会の取組状況について

#### (1) 地域経済活性化に関する分科会

#### (2) 観光プロモーションに関する分科会

### 4 意見交換

### 5 その他

### 6 閉会

#### (配付資料)

- ・資料1 地域経済活性化に関する分科会における取組状況
- ・資料2 観光プロモーションに関する分科会における取組状況

#### (参考資料)

- ・参考資料1 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会 委員名簿
- ・参考資料2 令和8年度協議会の開催状況について
- ・参考資料3 令和7年度協議会の開催状況について

資料 1

# 地域経済活性化に関する分科会における取組状況

令和8年10月8日  
荒川区産業経済部

## 地域経済活性化分科会における 8 年度取組方針（年度当初）

### ○（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステム構築に向けた詳細検討

- ・令和 9 年度からの運用開始を目指し、（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステム構築を図るための詳細検討を行う。
- ・検討にあたっては、地域経済活性化分科会において協議するほか、専門家からのヒアリングや他区の事例等も踏まえながら、実効性のあるプラットフォームの構築を図る。

#### 【主な検討内容】

- ・プラットフォームの目的の明確化、効果的な運営形態のあり方、有効な事業プログラムの検討、運営の要となるコーディネーター人材の配置検討、効果的なPR手法の検討など

## 8年度取組状況

# 地域経済活性化分科会における8年度の取組状況

## 8年度の取組状況

**5月8日（第1回）** 大田区「羽田イノベーションシティ」視察

**5月26日（第2回）** 品川区「品川産業支援交流施設SHIP」視察

**8月19日（第3回）** (株)極東精機製作所における共創の取組について、（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステムについて



▲5月8日 大田区視察



▲5月26日 品川区視察



▲8月19日  
(株)極東精機製作所の講話



▲8月19日 第3回分科会

## 8年度取組状況

# 地域経済活性化分科会における8年度の取組状況

### 取組から得た主な気づき

#### 5月8日（第1回）大田区視察

- ・イノベーション拠点には、単なる施設提供だけでなく、コーディネータによる企業間マッチング機能が重要である。
- ・ベンチャーフレンドリー塾のような会員制のコミュニティ・勉強会が企業間の関係性構築や共創に有効である。

#### 5月26日（第2回）品川区視察

- ・スタートアップ支援により、スタートアップの製品・サービスを区内企業が導入することによる DX 推進や競争力強化などが期待できる。
- ・企業間連携のサポートは、支援する側（コミュニティマネージャー、メンター等）も知見を持ち寄り、連携を密にする必要がある。

#### 8月19日（第3回）㈱極東精機製作所における共創の取組

- ・スタートアップにとって最優先課題は「売上を立てること」である。エコシステムへの参加が、大手企業とのマッチングや販路開拓に直結する場であることが担保されれば、企業の参加優先度は格段に上がる。
- ・共創においては、マッチング先を「区内事業者のみ」に焦点を当てがちだが、同じ想いのベクトルに沿った相手かを優先事項にして、共創相手を見つけることが大事である。

## （仮称）あらかわモノづくり企業エコシステムについて

# 1 目的

### （１）目的

区内企業、スタートアップ、大学、研究機関、金融機関といった多様な主体が持つ「強み」をつなげ、新たな連携と共創を促進する。

### （２）目標とする姿

- ・活発な企業コミュニティの形成
- ・区内企業の新たな取引先の獲得
- ・連携による区内企業の新製品・新技術開発の促進
- ・スタートアップ等の創業間もない企業の誘致・定着
- ・会員メンバーによる共同受注
- ・地域課題解決に向けた協働(ローカル・ゼブラ企業創出)など

（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステム イメージ図



（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステムについて

## 2 事業内容（案）

目標とする姿に向けて、以下の事業を展開する。

### （１）活発なコミュニティと、情報が巡る環境をつくる

|                |                                                  |
|----------------|--------------------------------------------------|
| オンラインコミュニティの常設 | 区内企業、スタートアップ、大学、金融機関等のエコシステム会員が日常的に情報交換できる場を運用。  |
| 交流・勉強会の開催      | 新たな取引・共創につなげるため、リアルでの勉強会やピッチイベント、マッチングイベントを定期開催。 |
| P R、情報発信       | 新たな参画企業を呼び込むため、エコシステム内の取り組みをHP・SNS、イベントで発信。      |

### （２）課題を掘り起こし、最適なパートナーを紹介する

|            |                                                                               |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| コーディネータの配置 | 週3日程度コーディネーターが窓口に立ち、会員企業の技術課題やニーズを掘り起こし。課題解決に繋がるスタートアップ、大学、専門家、先輩起業家等を引き合わせる。 |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------|

### （３）共創プロジェクトの事業化に向け伴走支援する

|        |                                               |
|--------|-----------------------------------------------|
| 専門家の配置 | 共同開発や事業化に向け、エンジニア等の専門家やものづくり起業家、投資家等による支援を提供。 |
|--------|-----------------------------------------------|

※新たな参画企業を呼び込むにあたり、以下事業をエコシステム内に統合する

|        |                                                                 |
|--------|-----------------------------------------------------------------|
| イデタチ東京 | ふらっとにっぽり5階にある、区運営のファッション関連創業支援施設。入居者支援、ファッション関連セミナー、PR展示会等の実施。  |
| ツムギバ   | ふらっとにっぽり3階にある、無料のコワーキングスペース。平日10時～17時開設し、週3日コーディネータを配置し相談対応の実施。 |

（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステムについて

## 2 事業内容（案）

### 勉強会に関する参考事例：ベンチャーフレンドリー塾について

#### ベンチャーフレンドリー塾

##### ■概要

大田区の町工場とスタートアップを繋ぎ、新産業を創出する会員制コミュニティ・勉強会。2か月に1回のペースで開催。

##### ■主な目的

マインド醸成：町工場がベンチャーと対等に伴走する「ベンチャーフレンドリー」な意識を育む

共創の創出：ベンチャーのアイデア（つくりたい）と町工場の技術（つくれる）をマッチング

ネットワーク：異業種交流や事例研究を通じた、大田区発のオープンイノベーションの推進

■主催：（公財）大田区産業振興協会

企画・運営：ベンチャーフレンドリープロジェクト（大田区内有志町工場）

#### ベンチャーフレンドリープロジェクト

##### ■概要

大田区のモノづくり企業、有限会社安久工機が発起人となり2022年に立ち上げた、ハードウェアベンチャーと町工場を繋ぐための支援・リブランディング活動。

##### ■体制

会 長：田中宙（有限会社安久工機 代表）

副会長：鈴木亮介（株式会社極東精機製作所 代表）



▲ベンチャーフレンドリー塾（大田区）

（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステムについて

### 3 主な事業拠点

|          |                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------|
| 相談窓口の場所  | ふらっとにつぼり 3 階の「ツムギバ」を活用<br>※相談窓口には、週 3 日程度コーディネータを配置 |
| イベント開催場所 | ふらっとにつぼり 3 階多目的室<br>※最大 70 名程度収容可                   |



▲ふらっとにつぼり  
（日暮里繊維街に所在）



▲ツムギバ



▲多目的室

## 4 運営体制・スケジュールなど

### 専門ノウハウとネットワークを持つ事業者 により運営

- ・ エコシステム事業を軌道に乗せるためには、「**新製品・新技術開発支援**」や「**資金調達**」といった高度な専門知識に加え、投資家・大企業・起業家などの**広範な民間ネットワークの活用**が不可欠。
- ・ 最も効果的な支援メニューや連携メニューを提案できる**最適な運営事業者を選定するため、公募型プロポーザル（※）を実施する。**

※官公庁などが公共事業の委託先を選ぶ際に、複数の企業から企画提案を募る方式。価格だけでなく、企業の企画力や経験などを総合的に評価して委託先を決定。

### エコシステム開始に伴い、MACC事業の終了

- ・ これまで区内製造業の新製品開発支援を担ってきたMACC事業について、**令和8年度末に事業終了**する。今後、MACC会員企業について、エコシステム会員に登録いただき、必要な支援を実施したい。

### エコシステムの9年度スケジュール

4～11月

プロポーザル実施、事業者決定・契約締結、運用準備・  
会員募集等

12月～

運営開始

## 5 エコシステム導入に向けた今後の取組

### 【主な検討内容など】

- ・ 意欲ある企業を引き込むための、有効な事業プログラムの検討（勉強会、マッチングイベントなど）
- ・ 会員企業への必要なアドバイス支援の内容検討（資金調達、技術開発、知財対策など）
- ・ エコシステム名称の検討
- ・ エコシステムに関する効果的なPR手法の検討 など

### ※エコシステム事業のオープンイベントを開催（以下、開催案）

|           |                                                                                                                                                                                   |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的       | エコシステム事業の運用開始に先立ち、PRと機運醸成を図るため、プレイベントとして、基調講演とピッチ・交流会を実施する。                                                                                                                       |
| 日 時       | 令和8年11月25日（水）14:00～17:00                                                                                                                                                          |
| 会 場       | ふらっとにっぽり                                                                                                                                                                          |
| 対 象 ・ 定 員 | 区内外の中小企業及びスタートアップ、金融機関、支援機関等50名程度                                                                                                                                                 |
| 内 容       | 1. オープニング(開会挨拶・エコシステム概要説明 ※区長登壇) (10分)<br>2. ピッチ(区内企業5社程度) (30分)<br>3. 基調講演(50分)<br>講演者 : 森若 幸次郎 氏<br>テーマ : 世界中のイノベーションエコシステムから学ぶ ― ビジネスを加速させるために必要な「仕事の共通点」とは？<br>4. 参加者交流会(60分) |

## 6 地域経済活性化分科会スケジュール

令和8年度 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション戦略推進会議の運営スケジュール（案）

【令和8年9月1日時点】

|                | 令和8年度 |                                                                        |    |    |                                                              |    |                 |                                          |     |                       |    |                 |
|----------------|-------|------------------------------------------------------------------------|----|----|--------------------------------------------------------------|----|-----------------|------------------------------------------|-----|-----------------------|----|-----------------|
|                | 4月    | 5月                                                                     | 6月 | 7月 | 8月                                                           | 9月 | 10月             | 11月                                      | 12月 | 1月                    | 2月 | 3月              |
| 全体会議           |       | 第1回会議<br>【書面開催】                                                        |    |    |                                                              |    | 第2回会議<br>【中間報告】 |                                          |     |                       |    | 第3回会議<br>【成果報告】 |
| 地域経済活性化に関する分科会 |       | 第1回会議<br>【大田区「羽田イノベーションシティ」視察】<br><br>第2回会議<br>【品川区「品川産業支援交流施設SHIP」視察】 |    |    | 第3回会議<br>【（株）極東精機製作所における共創の取組について、（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステムについて】 |    |                 | 第4回会議<br>【（仮称）あらかわモノづくり企業エコシステム事業充実の検討等】 |     | 第5回会議<br>【第3回全体会前の調整】 |    |                 |

## 資料 2

# 令和8年第2回地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会 観光プロモーション分科会 中間報告

観光プロモーション分科会 分科会長 丸山 慎二郎  
山田 章博  
田中 類  
細谷 誠



## 第2回地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会

### ①進行中の提案事業について 1. 荒川ユナイトーク



#### ユナイトーク（第2回目）

計70名以上の地域の方が、若者のスピーチを応援。

応援メッセージも約200枚集まりました。

スピーカーの小学5年生の声：

緊張したけど、やってよかった。自信ができました。またやってみたい。

## 第2回地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会

### ①進行中の提案事業について 2. ARAKAWA PRIDE LAB

シビックプライドの醸成を目的とした、フィールドワーク形式のプログラムを実施。区内小学生、保護者合わせて約50名が参加。当日はグループごとに別れて、「あらかわ遊園（観光）」「泪橋大嶋屋提灯店（伝統工芸）」「尾久の原公園（防災）」「日暮里トレインフェス（行政×交通）」の4箇所にてフィールドワークを実施。各地の魅力を発信するための「ポスター」を作成し、プレゼンテーションを実施しました。また、当日のプログラム内容は「荒川区SNSシティプロモーター」の「ヨダメ」さんに発信いただきました。

## 第2回地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会

### ①進行中の提案事業について 3. アラカワリンクス

# ARAKAWA LINKS

**目的：** 荒川区各地でイベントや催し事が  
同日同時刻に行われている。  
主催者同士で繋がったり、  
情報交換をすることでもっと  
荒川区が1つになり、  
魅力的で来たくなる街になる。

**モデル：** 渋谷区のスタートアップエコシステムの  
Slackに入って実際にイベントに参加したり、  
Slackの中で繋がることで  
事業者同士で繋がれている事例がある。

## 実証実験

**対象：** 荒川街ゼミ（約34事業者）

**ツール：** LINEオープンチャット

**期間：** 2026年7月13日～2026年9月14日（現在進行中）

34事業者中9割がLINEオープンチャットに参加  
中小企業診断士・荒川区・実行委員含め現在47アカウントが参加中

実施にあたり、キックオフの説明会やスナックでの懇親会にて  
意見出しや横の繋がりを作る作業を行ってスタートしました。

## 第2回地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会

### ②分科会提案事業の区からの評価について（1/2）

| 番号 | タイトル                                                          | 区の見解     |                 |                    |                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----|---------------------------------------------------------------|----------|-----------------|--------------------|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |                                                               | 観光視点での評価 | 想定する実施主体        | （区で実施する場合の）短中期の実現性 | （民間で実施する場合の）補助金等活用施策                     | コメント                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 1  | 荒川ユナイテーク                                                      | △        | 民間              | -                  | ・荒川区にぎわい創出事業（産業振興課）                      | ・現在、民間団体にプロトタイプを実施中。<br>・民間団体主導で運営することにより、自治体の施策・予算費目・公平性確保等の制限を受けることなく、自由な発想で取組を拡大することができ、さらなる発展を見込めると考える。<br>・区からの後援に際しては事業目的の明確化が必要。                                                                                                                                                                                                      |
| 2  | 荒川スナック物語                                                      | ○        | 民間              | -                  | ・観光振興事業補助金（観光振興課）<br>・荒川区にぎわい創出事業（産業振興課） | ・これまでにない発想であり区の有力な観光資源の一つとなりうる。しかし、スナックは風営法の範疇であり、区主体の事業展開（直接実施）はハードルが高いと考えられる。<br>・補助金の活用の際は、補助対象者が補助要件に合致するか確認する必要がある。                                                                                                                                                                                                                     |
| 3  | ARAKAWA CULTURE & FUTURE LAB ARAKAWA カルチャースクール～子どもたちの未来デザイン塾～ | △        | 民間              | -                  | -                                        | ・令和8年度、東京青年会議所荒川区委員会で行実施予定。<br>・区からの支援体制に関して、どのようなスキームで実施するか（どの部署が窓口・主管となり、ほかにどの部署がどのように支援するか）について、調整が必要である。（その前段として、事業目的の明確化が必要）                                                                                                                                                                                                            |
| 4  | 荒川きれいプロジェクト ARAKAWA CLEAN & WELCOME INITIATIVE                | △        | 区（および都・交通事業者など） | 低                  | -                                        | ・トイレという観点で観光やまちづくりを進める取組である。<br>・観光にも寄与する部分はあるが、基本的には地域インフラ構築に関する施策であり、その施策（防災都市づくり部のトイレ整備方針）との整合性を踏まえた上で、どう観光資源として活用するか、総合的な観点で検討する必要がある。<br><br>・トイレ整備に関しては、公衆衛生の観点から誘致圏500mで区内全域を網羅するよう設置してきた。また、和式トイレ、老朽化したトイレ、女性用がないトイレから優先的に改修している。<br>・観光的視点では、「三ノ輪橋停留場前トイレ」で都電停留場と合わせレトロ口調に整備した実績があるが、実例は多くなく、高コストになりがちで、それに対する理解を得ることにハードルが高い部分がある。 |

## 第2回地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会

### ②分科会提案事業の区からの評価について（2/2）

| 番号 | タイトル                                                   | 区の見解     |          |                    |                                                    |                                                                                                                                                                                                          |
|----|--------------------------------------------------------|----------|----------|--------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |                                                        | 観光視点での評価 | 想定する実施主体 | （区で実施する場合の）短中期的実現性 | （民間で実施する場合の）補助金等活用施策                               | コメント                                                                                                                                                                                                     |
| 5  | 荒川異文化ステイ ARAKAWA CULTURE STAY PROJECT                  | ○        | 民間       | -                  | ・空き家利活用事業補助金（住まい街づくり課）<br>・空家利活用創業賃料支援事業補助金（経営支援課） | ・既存の補助事業を利用して空き家活用を進めることは可能。<br>・宿泊施設については、区での民泊に係る強い規制、適切な場所の確保、空き家活用の方法、実施主体、周辺住民の理解など複数の課題が考えられ、様々な観点からの検討が必要である。                                                                                     |
| 6  | 荒川マネー～地域で稼ぎ、地域で使う、新しい荒川経済圏～ARAKAWA LOCAL MONEY PROJECT | △        | 区        | 低                  | -                                                  | ・地域通貨の維持運営の経費に膨大なコストを要することが課題。<br>・利用者側の利便性も含め、他自治体の事例を踏まえて検討する必要がある。                                                                                                                                    |
| 7  | 荒川鉄道都市伝説～消えた駅と3つのヒミツ～                                  | ○        | 区・民間     | 高                  | -                                                  | ・令和8年度は区で実施。                                                                                                                                                                                             |
| 8  | 荒川遊園夜市                                                 | ○        | 区・民間     | 中                  | （該当なし）                                             | ・あらかわ遊園の収支改善に向けて、夜間の活用について実施方法を検討中。<br>・実施に当たっては、既存の売店事業者との調整が必要<br>・令和9年度中の実施に向けて検討中                                                                                                                    |
| 9  | あらかわりリンクス                                              | △        | 区・民間     | -                  | （該当なし）                                             | ・区内事業者の横の連携、ネットワークを強化していくことは、区としても今後の課題と認識しているが、既に存在している他事業（LANP、MACCなど）や新エコシステムとも類似・重複している部分があり、これらとのすみわけの定義（場合によっては統合・整理）の検討が必要である。<br>・区の方針として、SNSの取組としては一方向の情報提供でのみ利用し、双方向コミュニケーションとしては利用しないこととしている。 |
| 10 | ノスタルジック・アラカワ Nostalgic Arakawa                         | ○        | 区・民間     | 高                  | ・観光振興事業補助金（観光振興課）                                  | ・観光ガイドブックは令和7年度に作成済、手書きおさんぽマップは令和8年度中に作成予定。                                                                                                                                                              |

## 前回の振り返り（連携の課題 → 今年の進め方）

### 前回（R7）

観光は、横断が前提。連携の設計が増えるほど、決めることが増える。  
誰かの頑張りに頼る進め方では、続かない——という課題が出た。

### 分科会の理念

楽しいことを正しくしていく。 "人と人が繋がる観光" を荒川区から。

荒川の強み —— 魅力は施設ではなく、「暮らし」「人」「物語」にある。

### 今年は、横断と連携が回る「進め方の型」を整える

未来のために、いま私たちが作るべき"観光の基準"をつくる。

その第一歩として、以下を検討する

### 検討：提案事業の「実行委員会化」

P.10

## 検討： 提案事業の「実行委員会化」（荒川ユナイトーク／ARAKAWA CULTURE）

### 単発のイベント から 実行委員会による「定期イベント」 へ

事業目的を、はっきりさせる

子ども・若者が主役になる場をつくる  
区外からの来訪動機に。区民のシビック  
プライドに。

01

入口は「観光」ではない

まず「荒川の魅力」として広げる  
その先、どう観光につなげるか

02

持ち手を、複数にする

地域団体・区内事業者・教育関係者 +  
区（後援）  
どう連携を取るかを、先に設計する

03

## 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会 委員名簿 (分科会別)

協議会会長：遠藤 智久

協議会副会長：丸山 慎二郎

(敬称略)

### 1 地域経済活性化に関する分科会

| N0 | 氏名                 | 区分   | 事業所名・役職                 |
|----|--------------------|------|-------------------------|
| 1  | えんどう ともひさ<br>遠藤 智久 | 分科会長 | 株式会社日興エボナイト製造所<br>代表取締役 |
| 2  | すずき あづさ<br>鈴木 あづさ  | 委員   | Atashirashiku 代表        |
| 3  | たけまえ ともかつ<br>竹前 友勝 | 委員   | 平和商事株式会社<br>代表取締役       |
| 4  | やしろ な ほ<br>野城 菜帆   | 委員   | 株式会社 MizLinx<br>代表取締役   |

(敬称略)

### 2 観光プロモーションに関する分科会

| N0 | 氏名                   | 区分   | 事業所名・役職               |
|----|----------------------|------|-----------------------|
| 5  | まるやま しんじろう<br>丸山 慎二郎 | 分科会長 | 株式会社 ROOM810<br>代表取締役 |
| 6  | たなか るい<br>田中 類       | 委員   | 株式会社イナック<br>代表取締役     |
| 7  | ほそや まこと<br>細谷 誠      | 委員   | 有限会社丸文製菓<br>代表取締役     |
| 8  | やまだ あきひろ<br>山田 章博    | 委員   | 山与織物株式会社<br>代表取締役     |

(敬称略)

## 令和8年度協議会の開催状況について

## 1 協議会（全体会）

|     | 開催日                 | 主な議題                                                                                                                       |
|-----|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 令和8年4月24日<br>(書面開催) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会長の選出及び副会長の指名</li> <li>・分科会の設置</li> <li>・各分科会の委員所属</li> <li>・各分科会長の選出</li> </ul> |
| 第2回 | 令和8年10月8日           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分科会の取組状況について</li> </ul>                                                           |
| 第3回 | 令和8年3月（予定）          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分科会の成果報告について（予定）</li> </ul>                                                       |

## 2 分科会

## (1) 地域経済活性化に関する分科会

|     | 開催日         | 主な議題                                                                                                            |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 令和8年5月8日    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽田イノベーションシティについて<br/>(現地視察)</li> </ul>                                  |
| 第2回 | 令和8年5月26日   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・品川産業支援交流施設 SHIP について<br/>(現地視察)</li> </ul>                              |
| 第3回 | 令和8年8月19日   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株) 極東精機製作所における共創の取組について</li> <li>・「仮称」あらかわモノづくり企業エコシステムについて</li> </ul> |
| 第4回 | 令和8年11月（予定） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未定</li> </ul>                                                           |
| 第5回 | 令和9年1月（予定）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未定</li> </ul>                                                           |

## (2) 観光プロモーションに関する分科会

|     | 開催日         | 主な議題                                                                                                                              |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 令和8年6月3日    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3事業(アラカワカルチャー、荒川遊園夜市、アラカワリンクス)について</li> <li>・予算化された2事業(電車×謎解き、ノスタルジックアラカワ)について</li> </ul> |
| 第2回 | 令和8年8月24日   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご提案いただいた事業について</li> <li>・観光振興懇談会について</li> </ul>                                           |
| 第3回 | 令和8年11月（予定） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未定</li> </ul>                                                                             |
| 第4回 | 令和9年1月（予定）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未定</li> </ul>                                                                             |

## 令和7年度協議会の開催状況について

### 1 協議会（全体会）

|     | 開催日        | 主な議題                  |
|-----|------------|-----------------------|
| 第1回 | 令和7年5月30日  | ・荒川区の産業振興及び観光振興施策について |
| 第2回 | 令和7年10月16日 | ・各分科会の取組状況について        |
| 第3回 | 令和8年3月13日  | ・各分科会の成果報告について        |

### 2 分科会

#### （1）地域経済活性化に関する分科会

|     | 開催日        | 主な議題                                                                     |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 令和7年6月13日  | ・荒川区発の革新的企業を創出するためには                                                     |
| 第2回 | 令和7年8月20日  | ・区内モノづくり技術のPR・活用に向けて<br>・企業同士の交流、スタートアップとの連携を図るには<br>・区内学校卒業生の区内企業就職に向けて |
| 第3回 | 令和7年11月10日 | ・区内企業のデジタル化・DX化に向けて<br>・モノづくり企業間のネットワークの構築に向けて                           |
| 第4回 | 令和8年1月28日  | ・価格転嫁や賃上げに関する区内状況等について<br>・分科会におけるこれまでの取組成果と次年度に向けて                      |

#### （2）観光プロモーションに関する分科会

|     | 開催日        | 主な議題                                            |
|-----|------------|-------------------------------------------------|
| 第1回 | 令和7年6月12日  | ・新たな観光資源に関する意見交換                                |
| 第2回 | 令和7年8月5日   | ・委員からの事業提案                                      |
| 第3回 | 令和7年12月10日 | ・提案事業のロードマップ案について<br>・観光大使を含めた荒川区の観光プロモーションについて |
| 第4回 | 令和8年1月23日  | ・提案事業のロードマップ案(R8.1月時点)について<br>・意見取りまとめ          |